

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	土木部	組織名 (準部・課・機関名)	土木総務課	評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	道路施設について、定期的な点検を実施します。特に施設数の多い橋りょうについては、計画的な補修に取り組み、更新時期の延伸を図ります。	政策15-1-①	橋梁の一巡目点検における判定区分Ⅲの橋梁に対する修繕着手率	46%		橋りょうの維持補修	定期点検により補修が必要な状態を確認した橋梁について、補修を実施し、健全性を回復させることにより施設の長寿命化を推進します		
		政策15-1-①	路面性状調査の実施延長(累計) [R4末現状値75km]	156km		道路の維持管理	交通量の多い幹線道路において、舗装状態を把握するための路面性状調査等を実施し、その結果に基づいた適切な補修を推進します。		
2	都市部や生活圏において、多様なライフスタイルに合わせた環境に優しい移動手段として、歩行空間や自転車利用環境の向上に取り組みます。	政策14-1-②	自転車利用環境計画の達成度評価と改善点の洗い出し	自転車利用環境計画の改定		自転車走行空間の整備	歩行者と自転車利用者が安全に通行できるように、車道の路肩に自転車走行空間を示す路面標示を設置するなど、歩行者、自転車、自動車適切に分離された空間整備を推進します。		
3	通学路における児童や未就学児を交通事故の被害から守るため、安心・安全な歩行空間の確保を推進します。	政策15-1-④	通学路交通安全プログラムの対策達成率	75%		交通安全施設整備事業	「通学路交通安全プログラム」に基づき、小学校の通学路及び未就学児が日常的に集団で移動する経路において、防護柵の設置や路側帯のカラー化など交通安全対策を実施します。		
4	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	各グループの業務をテーマとした、職場内研修会の開催	4回 (各グループで講師役各1回)		課内研修会の開催	職員による説明会形式の研修を実施します。講師・受講者の双方を経験することで、幅広い知識の習得とグループ間で課題の相互理解、説明能力・資料作成能力の向上を図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名		(参考)	・港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	土木部	(準部・課・機関名)	道路計画課	関連する総合計画における政策指標		評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要			
1	・日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンク解消や磐越自動車道の4車線化整備などにより、平時の交流・物流機能に加え、災害時・緊急時における安全・迅速な輸送などを支える拠点間ネットワーク機能の強化を図ります。 ・日常的な移動はもとより、業務活動・物流・観光などの社会経済活動や、災害時における安全・迅速な輸送などを支えるため、放射・環状型の道路ネットワークの整備を推進します。	政策14-3-① 政策15-1-②	・要望活動による整備促進	・整備促進		・高規格幹線道路の整備促進 ・直轄国道の整備促進	日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンク解消及び磐越自動車道全線4車線化の整備促進に向けて、各種同盟会などを通じ、国への要望活動を行います。 ・本市の拠点性を高め、多核連携型の都市構造を支える放射環状型の幹線道路ネットワークの骨格をなす直轄国道の整備のさらなるスピードアップに向け、国とともに地域の理解醸成を図ります。			
2	地震などの自然災害から市民の生活を守るため、維持管理部門と連携しながら、橋りょうの計画的な更新を推進し、都市基盤の強化を図ります。	まちづくり・インフラ 政策15-1-①	老朽化した橋りょうの計画的な更新	更新箇所 4橋		老朽化した橋りょうの計画的な更新	地震などの自然災害から市民の生活を守るため、老朽化した橋りょう(山ノ下橋、亀田跨線橋、小須戸橋、塩俵橋など)の計画的な更新を推進します。			
3	・日常的な移動はもとより、業務活動・物流・観光などの社会経済活動や、災害時における安全・迅速な輸送などを支えるため、放射・環状型の道路ネットワークの整備を推進します。	政策15-1-②	・新潟中央環状道路の整備推進	・整備推進		・新潟中央環状道路の整備	・多核連携型の都市構造を支え、各地域拠点間の交流・連携軸となる新潟中央環状道路の整備を推進します。なお、新潟中央環状線の国道8号から国道49号区間のうち、整備効果を早期に発現できる区間を選定し、優先的に整備を行い、早期供用を目指します。			
4	鉄道駅における交通結節点の機能強化と賑わいの創出を図るとともに、快適性・安全性を高めるため、駅前広場、自由通路へのエレベーターの設置をはじめとしたバリアフリー化など、ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進します。	政策14-1-②	・越後石山駅及び巻駅の自由通路及び駅前広場の整備推進	・整備推進		越後石山駅・巻駅周辺整備事業	越後石山駅、巻駅について、駅前広場、自由通路の整備と併せてバリアフリー化を推進します。			
5	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組めます。	行財1-4-①	・研修会等参加回数(延べ人数) ・部内研修会開催回数	・24回(12人×2回) ・3回開催		職員の能力開発、キャリア育成	人材育成基本方針に基づき、職員に必要なとされる基本的な資質・能力の育成や階層別研修のほか、専門能力の向上及び、自己開発に向けた支援を行います。			

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	土木部	組織名 (準部・課・機関名)	西部地域土木事務所	評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	多角連携型の都市構造を支える、放射・環状型の道路ネットワークを強化します。	政策15-1-②	・整備推進	・整備推進		・新潟中央環状道路 ・小新亀貝線 ・獅子ヶ鼻大橋 ・塩俵橋 ・黒鳥BP ・鯉淵古川線	日常的な移動はもとより、業務活動・物流・観光などの社会経済活動や災害時における安全・迅速な輸送などを支えるため、放射・環状型の道路ネットワークの整備を推進します。		
2	安心・安全な道路ネットワークの確保のため道路施設の長寿命化に取り組みます。	政策15-1-① 政策15-1-③ 行財2-2-②	・補修橋梁着手率 着手率(累計数) 当該年度着手数	60%(35) 9		・橋梁維持補修 (対象58橋)	管内の橋りょうの定期点検を実施し、計画的な補修に取り組みます。 ※点検により対象数・実施率が変化します。		
3	安心・安全な道路ネットワークの確保のため、災害・事故対策を推進します。	政策15-1-④	・対策実施率 実施率(累計数) 当該年度実施数	75%(55) 4		・道路防災事業 (要対策箇所73箇所)	管内の緊急輸送道路上における落石・崩壊や土石流などの被害が想定される要対策と判定された施設の防災対策を推進します。 ※点検により対象数・実施率が変化します。		
4	次世代に対応した職員を育成します。	行財1-4-①	・研修内容や満足度評価 (5点満点:評価点 4.0以上の割合)	50%		・当課の業務に拘らな い研修会に参加し報 告会を開催するととも に、所属職員が講師と なる勉強会・検討会を 開催。	職務に必要な技術力はもとより組織力の向上を目的に、知識・経験の共有や継承に努め、本市の安心・安全なまちづくりの土台となる社会資本整備を担う職員育成に取り組みます。		